

平成22年3月23日

各 位

上場会社名 株式会社 大庄
 代表者 代表取締役社長 平 辰
 (コード番号 9979)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 水野 正嗣
 (TEL 03-5764-2229)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年10月14日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成22年8月期第2四半期連結累計期間連結業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	44,600	700	1,000	350	16.97
今回発表予想(B)	42,128	△762	△340	△482	△23.39
増減額(B-A)	△2,472	△1,462	△1,340	△832	
増減率(%)	△5.5	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	44,000	897	1,197	464	22.28

平成22年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	88,900	1,150	1,670	500	24.24
今回発表予想(B)	85,650	△380	460	△270	△13.09
増減額(B-A)	△3,250	△1,530	△1,210	△770	
増減率(%)	△3.7	—	△72.5	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	86,867	579	1,111	△593	△28.62

平成22年8月期第2四半期累計期間個別業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年2月28日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	36,220	450	760	250	12.12
今回発表予想(B)	34,412	△732	△317	△411	△19.93
増減額(B-A)	△1,808	△1,182	△1,077	△661	
増減率(%)	△5.0	—	—	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成21年8月期第2四半期)	36,539	694	992	363	17.45

平成22年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成21年9月1日～平成22年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	72,100	700	1,270	320	15.51
今回発表予想(B)	70,000	△450	370	△320	△15.51
増減額(B-A)	△2,100	△1,150	△900	△640	
増減率(%)	△2.9	—	△70.9	—	
(ご参考)前期実績 (平成21年8月期)	71,500	281	815	△908	△43.84

修正の理由

(1) 第2四半期連結業績予想の修正理由

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策効果などにより持ち直しの兆しも見られましたが、企業収益や設備投資は依然として低調に推移いたしました。

個人消費については、各種対策効果もあり耐久消費財を中心に回復の動きが見られたものの、雇用・所得環境の先行き不透明感は依然続いており、外食業界全体では引き続き厳しい状況で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、主力事業である飲食事業において様々な営業施策の取組みや新規業態の開発などを行いましたが、消費低迷に加えて業界内での低価格競争激化の影響もあり、売上高は改善するまでには至りませんでした。このため、当社グループの既存店売上高は、平成22年2月期(平成21年9月1日から平成22年2月28日まで)累計で前年比91.5%と、当初計画(96.5%)を割り込む状況となりました。

こうした要因を主として、第2四半期連結累計期間の売上計画達成は厳しい状況であるため、前回予想を修正するものであります。一方、利益面においては、売上高の減少により売上総利益額が減少したことが大きく影響し、営業利益、経常利益、四半期純利益とも、前回予想を下回る見通しとなりました。

(2) 通期連結業績予想の修正理由

通期におきましても、第2四半期の業績が前回予想を下回ることが大きく影響し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見通しとなりました。

(3) 第2四半期個別業績予想の修正理由

売上高につきましては、第2四半期連結業績と同様の要因により、前回予想を下回る見通しとなりました。また、営業利益、経常利益、四半期純利益については、売上高の減少により売上総利益額が減少したことが大きく影響し、前回予想を下回る見通しとなりました。

(4) 通期個別業績予想の修正理由

通期におきましても、第2四半期の業績が前回予想を下回ることが大きく影響し、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益とも前回予想を下回る見通しとなりました。

なお、平成22年8月期の配当につきましては、当初計画通り、第2四半期末10円、期末11円の通期で1株当たり21円を予定しております。

(注) 上記の予想は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績等は、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上